

## 第2章 4市(青森市・弘前市・五所川原市・黒石市)の小・中学校におけるねぶた・ねぷた・立佞武多と学校教育との関わり調査(2010年版)～2006年度調査との比較を含む～

### 第1節 調査の目的と対象・回収率

#### 1. 調査の目的

本調査は、ねぶた・ねぷた祭りが大規模で行われている、青森市、弘前市、五所川原市、黒石市の公立小・中学校において、ねぶた・ねぷたを取り入れた教育実践がどのように行われているかを調べ、その特徴を明らかにすることを目的とする。また、2006年度と同調査(2市調査―第1章参照)と比較して、変化があったかを考察することも視野にした。なぜならば、前調査から今調査の4年の間に新学習指導要領(2008年版)が告示され、2010年度は移行期間であったためである。

#### 2. 回収率

調査票の回収率は表2のようで、回収率は4市の合計で98.1%である。

表1は前回調査(2006年)の回収結果で、実施時期は、前回は2006年12月から2007年1月であり、今回は2011年2月である。

	学校数 (校)	回答数 (校)	回収率 (%)
青森市小学校	54	48	88.9
弘前市小学校	38	34	89.5
青森市中学校	23	20	86.9
弘前市中学校	18	18	100.0
合計	133	120	90.2
両市小学校	92	82	89.1
両市中学校	41	38	92.7
青森市両校	77	68	88.3
弘前市両校	56	52	92.9

表1 前回回収結果

(国立・私立含む)

\*青森市は私立からの回答無し。

	学校数 (校)	回答数 (校)	回収率 (%)
青森市小学校	49	49	100.0
弘前市小学校	37	37	100.0
五所川原市小学校	16	16	100.0
黒石市小学校	10	7	70.0
青森市中学校	21	21	100.0
弘前市中学校	16	16	100.0
五所川原市中学校	7	7	100.0
黒石市中学校	4	4	100.0
合計	160	157	98.1
4市小学校	112	109	97.3
4市中学校	48	48	100.0
青森市両校	70	70	100.0
弘前市両校	53	53	100.0
五所川原市両校	23	23	100.0
黒石市両校	14	11	78.6

表2 今回回収結果

(国立・私立除く)

前回(2006年度)は、各市校長会の協力により実施したが、今回(2010年度)は、4市の教育委員会の協力により実施したため、回収率が100%に近いものとなった。

## 第2節 各質問項目の回答集計と項目ごとの考察

### (1)ねぶた・ねぶた・立佞武多の学校での取り組み(活動)の有無と活動内容

《質問》：「貴校では、学校の教育活動の一環として、①ねぶた・ねぶた本体、金魚ねぶた・ねぶたや灯ろうねぶた・ねぶた等の製作・制作、②学校独自、または、夏の合同運行・町会運行への参加・運行、運行のための笛等の練習などを、教科、総合的な学習の時間、特別活動、行事、PTA 子ども会活動などで取り上げていますか。」

ア、本年度、ねぶた・ねぶた本体、金魚ねぶた・ねぶたや灯ろうねぶた・ねぶた等の製作・制作を取り上げている。

イ、本年度、学校独自、またはそれ以外の祭りへの参加・運行、参加のための笛等の練習などを取り上げている。

ウ、本年度、特に取り上げていない。

エ、本年度は取り上げていないが、過去5年間(2005, 2006, 2007, 2008, 2009年度)では、なぶた・ねぶた本体、金魚ねぶた・ねぶたや灯ねぶた・ろうねぶた等の製作・制作を取り上げた。

オ、本年度は取り上げていないが、過去5年間(2005, 2006, 2007, 2008, 2009年度)では、学校独自、またはそれ以外の祭りへの参加・運行、参加のための笛等の練習などを取り上げた。

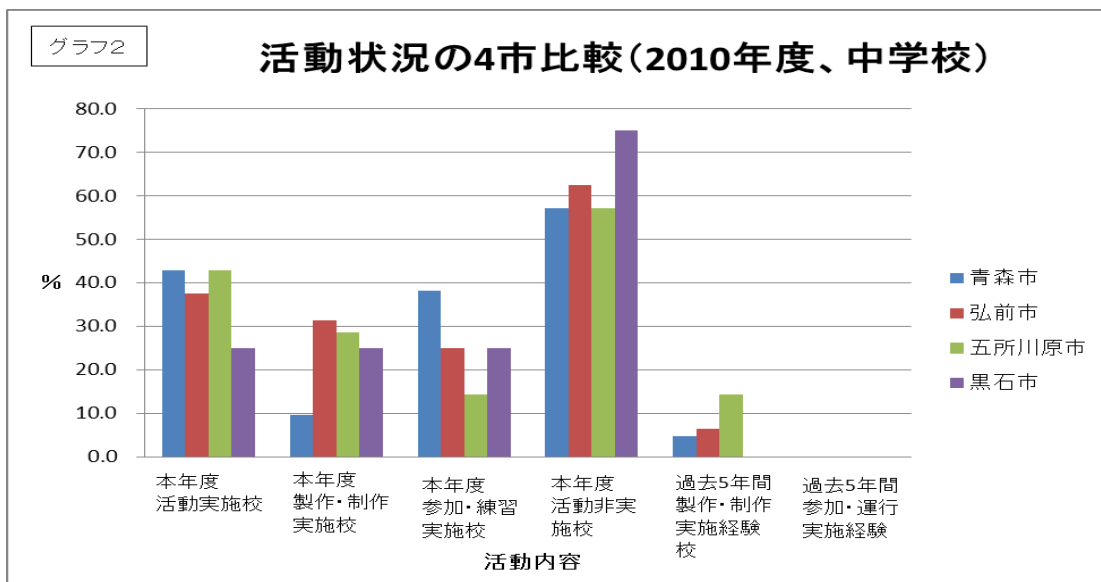
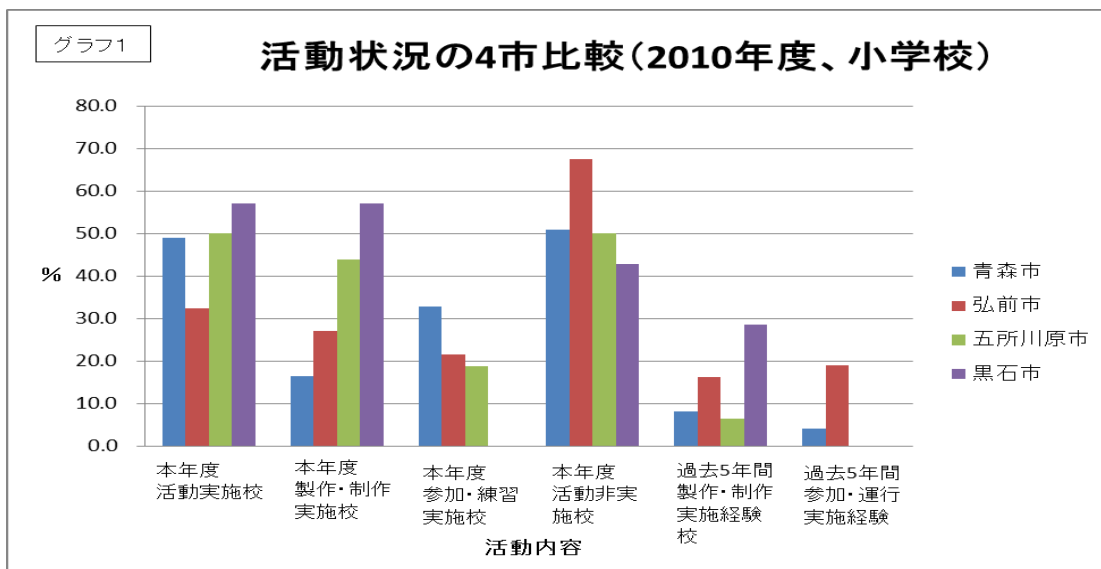
《2010年度調査》		*複数回答可											
	回答 学校 数	活動の現状と過去の活動経験の有無											
		本年度 活動 実施校数		本年度 製作・制作 実施校		本年度 参加・練習 実施校		本年度 活動 非実施校		過去5年間 製作・制作 実施 経験校		過去5年間 参加・運行 実施 経験校	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	49	24	49.0	8	16.3	16	32.7	25	51.0	4	8.2	2	4.1
弘前市小学校	37	12	32.4	10	27.0	8	21.6	25	67.6	6	16.2	7	18.9
五所川原市小学校	16	8	50.0	7	43.8	3	18.8	8	50.0	1	6.3	0	0.0
黒石市小学校	7	4	57.1	4	57.1	0	0.0	3	42.9	2	28.6	0	0.0
青森市中学校	21	9	42.9	2	9.5	8	38.1	12	57.1	1	4.8	0	0.0
弘前市中学校	16	6	37.5	5	31.3	4	25.0	10	62.5	1	6.3	0	0.0
五所川原市中学校	7	3	42.9	2	28.6	1	14.3	4	57.1	1	14.3	0	0.0
黒石市中学校	4	1	25.0	1	25.0	1	25.0	3	75.0	0	0.0	0	0.0
2市小計	123	51	41.5	25	20.3	36	29.3	72	58.5	12	9.8	9	7.3
合計	157	67	42.7	39	24.8	41	26.1	90	57.3	16	10.2	9	5.7
2市小学校	86	36	41.9	18	20.9	24	27.9	50	58.1	10	11.6	9	10.5
2市中学校	37	15	40.5	7	18.9	12	32.4	22	59.5	2	5.4	0	0.0
4市小学校	109	48	44.0	29	26.6	27	24.8	61	56.0	13	11.9	9	8.3
4市中学校	48	19	39.6	10	20.8	14	29.2	29	60.4	3	6.3	0	0.0
青森市両校	70	33	47.1	10	14.3	24	34.3	37	52.9	5	7.1	2	2.9
弘前市両校	53	18	34.0	15	28.3	12	22.6	35	66.0	7	13.2	7	13.2
五所川原市両校	23	11	47.8	9	39.1	4	17.4	12	52.2	2	8.7	0	0.0
黒石市両校	11	5	45.5	5	45.5	1	9.1	6	54.5	2	18.2	0	0.0

表3 「ねぶた・ねぶた・立佞武多」活動の現状と過去の活動経験の有無

※表の割合(%)を計算するときの分母は、回答学校数である。

\*表の「2市」とは、青森市・弘前市である。

\*過去実施経験のうち、弘前市小学校4校は、学校創立周年記念の際に単年計画として実施。



#### 《2010年度 活動の有無と活動内容の考察》

各市の小学校の取り組み（活動）の有無をみると、44.0%の学校で何らかの取り組みをしている(表3とグラフ1参照)。弘前市が32.4%と低いが、これは、地域ねぶたが多数繰り出す弘前市において、多くの各地域子供会(町内やねぶた運行団体単位)に子どもや保護者が参加しているが、小学校1校に複数の地域子供会が存在する所が多く、そのため、これらの学校ではPTAの子供会活動として位置付けていないところがあり、学校の活動と認識されていないと思われる。これらを鑑みれば、全市とも5割近い小学校でねぶた・ねぶたに関して何らかの取り組みをしている。一方中学校も、平均して各市4割の学校が何らかの取り組みをしている。

活動内容における各市ごとの小学校の特徴は、「制作重視型」が五所川原市(43.8%、過去5年も含めると50.1%—以下同じ)、黒石市(57.1%、85.7%)であり、「参加・運行型」が青森市(16.3%、36.8%)で、弘前市は均衡している。中学校でも「制作重視型」が五所川原市(42.9%)、「参加・運行型」が青森市(38.1%)で、弘前市は均衡し同じ傾向がみられる(表3とグラフ2参照)。

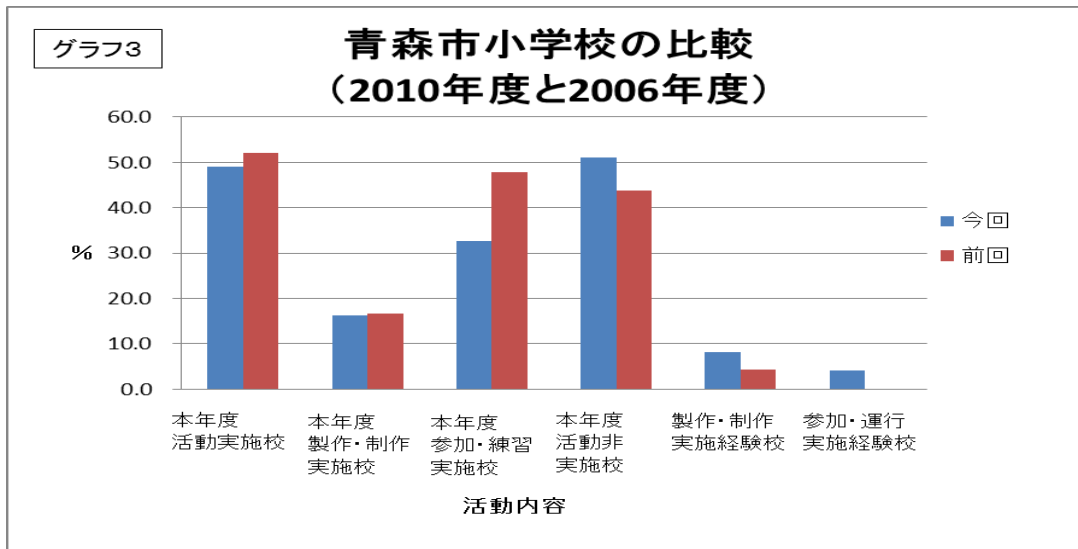
《2006年度調査》

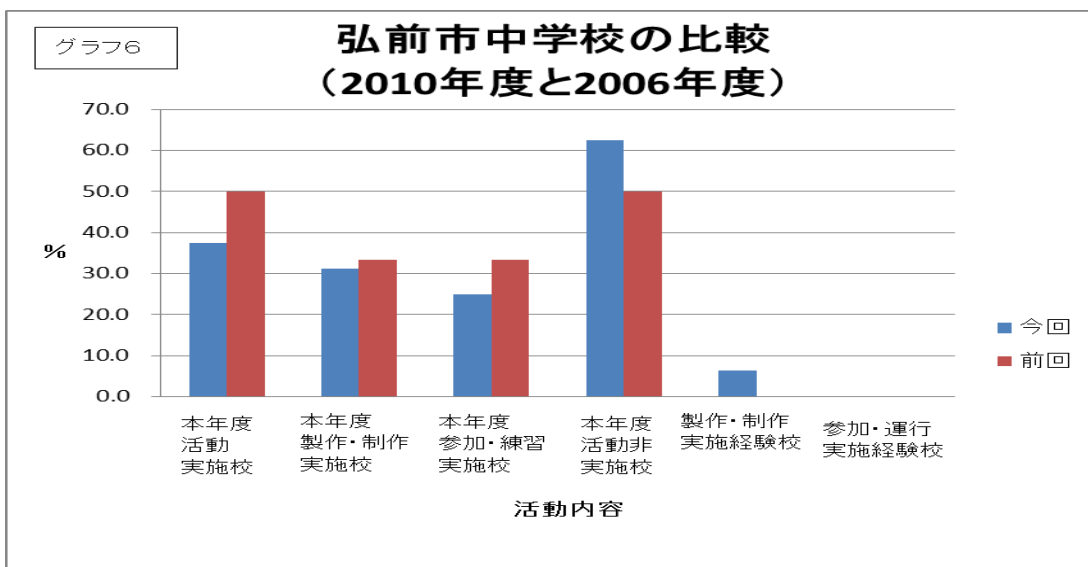
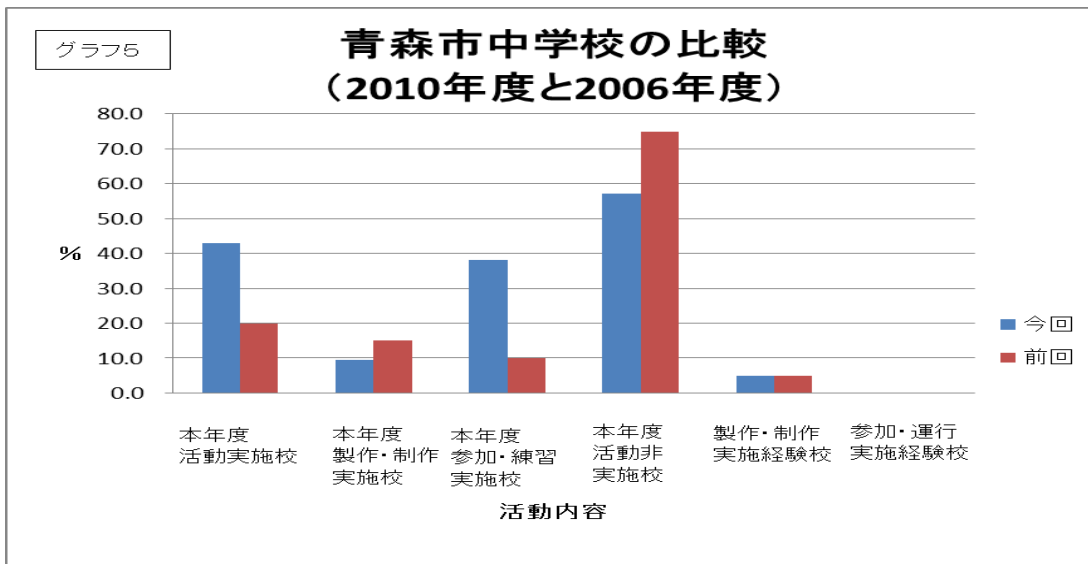
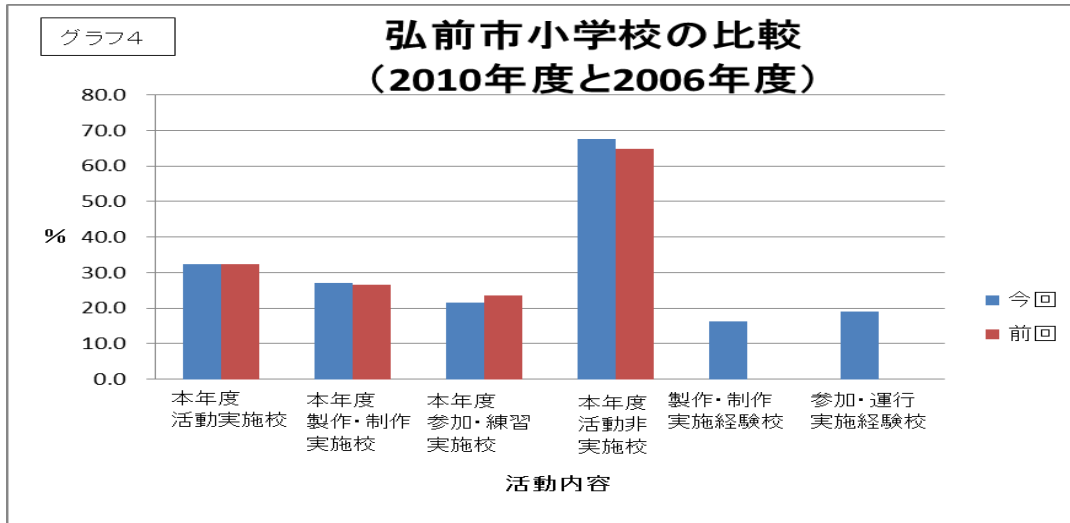
\* 複数回答可

	回答 学校 数	活動の現状と過去の活動経験の有無											
		本年度 活動 実施校数		本年度 製作・制作 実施校		本年度 参加・練習 実施校		本年度 活動 非実施校		過去2年間 製作・制作 実施 経験校		過去2年間 参加・運行 実施 経験校	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	48	25	52.1	8	16.7	23	47.9	21	43.8	2	4.2	0	0.0
弘前市小学校	34	11	32.4	9	26.5	8	23.5	22	64.7	2	5.9	0	0.0
青森市中学校	20	4	20.0	3	15.0	2	10.0	15	75.0	1	5.0	0	0.0
弘前市中学校	18	9	50.0	6	33.3	6	33.3	9	50.0	0	0.0	0	0.0
合計	120	49	40.8	26	21.7	39	32.5	67	55.8	5	4.2	0	0.0
両市小学校	82	36	43.9	17	20.7	31	37.8	43	52.4	4	4.9	0	0.0
両市中学校	38	13	34.2	9	23.7	8	21.1	24	63.2	1	2.6	0	0.0
青森市両校	68	29	42.6	11	16.2	25	36.8	36	52.9	3	4.4	0	0.0
弘前市両校	52	20	38.5	15	28.8	14	26.9	31	59.6	2	3.8	0	0.0

表4 前回結果「ねぶた・ねぶた」活動の現状と過去の活動経験の有無

\*2006年度調査で、過去については「過去2年間」で聞いている。以下全て同じ





## 《2010年度と2006年度調査との比較考察》

表3と表4、グラフ3. 4. 5. 6から、前回(2006年度)と今回(2010年度)の取り組みの有無について比較する。

小学校は、青森市も弘前市もほとんど変化がなかった。中学校は、青森市が5校(22.9%)増で、弘前市は3校(12.5%)減で、実施校の増減があったが、その要因はわからない。

## (2). 製作・制作活動について

質問1でア(本年度の製作・制作有)又はエ(過去5年間での製作・制作有)と回答した学校への質問

### (2)－1 取り上げている教育課程の領域について

《質問》:「取り上げている領域は、次のどれですか。また、実施学年はいつですか。」

《2010年度調査》		* 複数回答可											
	実施 学校 数	「製作・制作」の実施領域											
		教科		総合的な 学習の 時間		特別活動		行事		PTA 子ども会		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	12	0	0.0	5	41.7	1	8.3	1	8.3	0	0.0	1	8.3
弘前市小学校	16	2	12.5	8	50.0	0	0.0	1	6.3	3	18.8	0	0.0
五所川原市小学校	8	0	0.0	3	37.5	1	12.5	1	12.5	2	25.0	0	0.0
黒石市小学校	6	0	0.0	2	33.3	0	0.0	0	0.0	4	66.7	0	0.0
青森市中学校	3	0	0.0	2	66.7	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0
弘前市中学校	6	2	33.3	2	33.3	0	0.0	2	33.3	0	0.0	0	0.0
五所川原市中学校	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	66.7	0	0.0	1	33.3
黒石市中学校	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
2市小計	37	4	10.8	17	45.9	1	2.7	5	13.5	3	8.1	1	2.7
合計	55	4	7.3	23	41.8	2	3.6	9	16.4	9	16.4	2	3.6
2市小学校	28	2	7.1	13	46.4	1	3.6	2	7.1	3	10.7	1	3.6
2市中学校	9	2	22.2	4	44.4	0	0.0	3	33.3	0	0.0	0	0.0
4市小学校	42	2	4.8	18	42.9	2	4.8	3	7.1	9	21.4	1	2.4
4市中学校	13	2	15.4	5	38.5	0	0.0	6	46.2	0	0.0	1	7.7
青森市両校	15	0	0.0	7	46.7	1	6.7	2	13.3	0	0.0	1	8.3
弘前市両校	22	4	18.2	10	45.5	0	0.0	3	13.6	3	13.6	0	0.0
五所川原市両校	11	0	0.0	3	27.3	1	9.1	3	27.3	2	18.2	1	9.1
黒石市両校	7	0	0.0	3	42.9	0	0.0	1	14.3	4	57.1	0	0.0

表5 「製作・制作」の実施領域

\*製作・制作の実施校数は、本年度と過去5年間の合計としている。以下全て同じ。

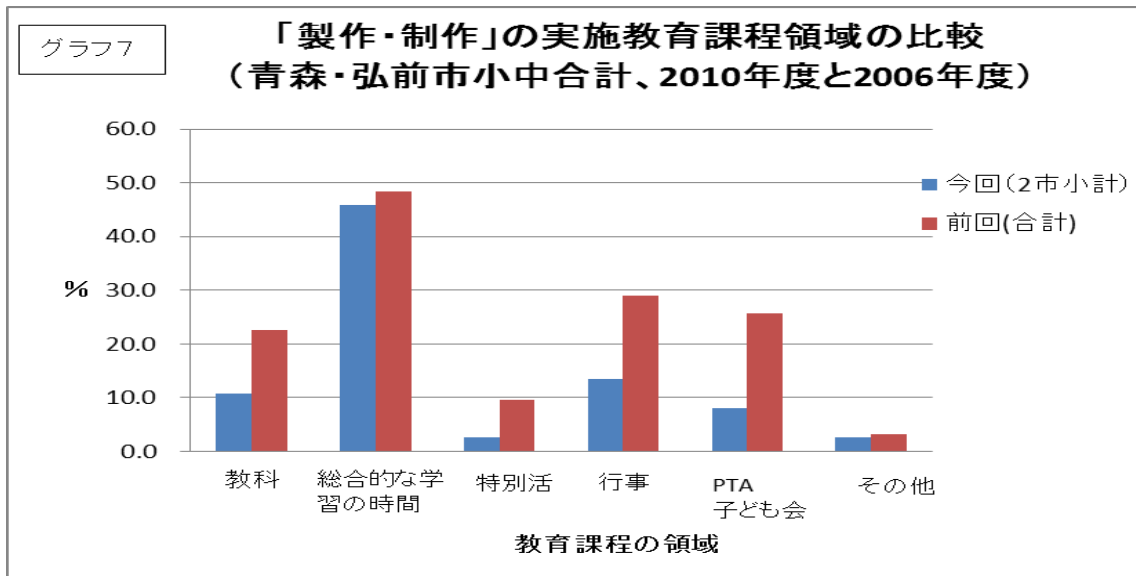
\*教科は、弘前市小学校で生活2校、弘前市中学校で選択(美術・技術等)2校、その他は青森市小学校で、ボランティア1校。

《2006年度調査》

\* 複数回答可

	実施 学校 数	「製作・制作」の実施領域											
		教科		総合的な 学習の 時間		特別活動		行事		PTA 子ども会		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	10	1	10.0	4	40.0	0	0.0	1	10.0	6	60.0	0	0.0
弘前市小学校	11	3	27.3	6	54.5	1	9.1	2	18.2	2	18.2	1	9.1
青森市中学校	4	0	0.0	2	50.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0
弘前市中学校	6	3	50.0	3	50.0	2	33.3	4	66.7	0	0.0	0	0.0
合計	31	7	22.6	15	48.4	3	9.7	9	29.0	8	25.8	1	3.2
両市小学校	21	4	19.0	10	47.6	1	4.8	3	14.3	8	38.1	1	4.8
両市中学校	10	3	30.0	5	50.0	2	20.0	6	60.0	0	0.0	0	0.0
青森市両校	14	1	7.1	6	42.9	0	0.0	3	21.4	6	42.9	0	0.0
弘前市両校	17	6	35.3	9	52.9	3	17.6	6	35.3	2	11.8	1	5.9

表6 前回結果「製作・制作」の実施領域



(2)ー2 製作・制作した作品について

《質問》:「製作・制作したものは、次のどれですか」

- ア、金魚ねぶた・ねぶたの、紙はり、墨書き、ロウ書き、色付けのみ
- イ、金魚ねぶた・ねぶたの、骨組みから全ての製作・制作
- ウ、灯ろうねぶた・ねぶたの、紙はり、墨書き、ロウ書き、色付けのみ
- エ、灯ろうねぶた・ねぶたの、骨組みから全ての製作・制作
- オ、たこ絵等の製作
- カ、学校独自のねぶた・ねぶた本体、前ねぶた・ねぶた等の製作・制作
- キ、地域・合同運行祭りのねぶた・ねぶた本体・前ねぶた・ねぶた等の製作・制作
- ク、その他

《2010年度調査》

\* 複数回答可

	実施 学校 数	「製作・制作」の内容															
		金魚ねぶた・ ねぶた紙貼り 以降		金魚ねぶた・ ねぶた骨組み から		灯ろうねぶた・ ねぶた紙貼り 以降		灯ろうねぶた・ ねぶた骨組み から		たこ絵等 の製作		学校独自 の本体の 製作・制作		合同運行など の本体の 製作		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	12	3	25.0	3	25.0	1	8.3	0	0.0	1	8.3	0	0.0	1	8.3	2	16.7
弘前市小学校	16	5	31.3	3	18.8	3	18.8	0	0.0	1	6.3	2	12.5	3	18.8	2	12.5
五所川原市小学校	8	1	12.5	5	62.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0	1	12.5
黒石市小学校	6	2	33.3	0	0.0	4	66.7	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森市中学校	3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	66.7	0	0.0	0	0.0	1	33.3
弘前市中学校	6	2	33.3	1	16.7	5	83.3	0	0.0	0	0.0	2	33.3	1	16.7	0	0.0
五所川原市中学校	3	0	0.0	0	0.0	1	33.3	1	33.3	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0
黒石市中学校	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
合計	55	14	25.5	12	21.8	14	25.5	2	3.6	4	7.3	7	12.7	5	9.1	6	10.9
4市小学校	42	11	26.2	11	26.2	8	19.0	1	2.4	2	4.8	3	7.1	4	9.5	5	11.9
4市中学校	13	3	23.1	1	7.7	6	46.2	1	7.7	2	15.4	4	30.8	1	7.7	1	7.7
青森市両校	15	4	26.7	3	20.0	1	6.7	0	0.0	3	20.0	0	0.0	1	6.7	3	20.0
弘前市両校	22	7	31.8	4	18.2	8	36.4	0	0.0	1	4.5	4	18.2	4	18.2	2	9.1
五所川原市両校	11	1	9.1	5	45.5	1	9.1	1	9.1	0	0.0	2	18.2	0	0.0	1	9.1
黒石市両校	7	2	28.6	0	0.0	4	57.1	1	14.3	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0

表7 「製作・制作」の内容

\* 「たこ絵等の製作」については、今回調査で新たに項目を追加した。

\* その他は、青森市小学校で、折り紙・紙だけで作る金魚ねぶた 2校、青森市中学校でねぶた面 1校、弘前市小学校でねぶた絵描き 1校、五所川原市小学校でクラブオリジナルねぶた 1校。

※実施校数と内容の校数が合わないのは、無記入校が有るため。

《2006年度調査》

\* 複数回答可

	実施 学校 数	「製作・制作」の内容													
		金魚ねぶた・ ねぶた紙貼り 以降		金魚ねぶた・ ねぶた骨組み から		灯ろうねぶた・ ねぶた紙貼り 以降		灯ろうねぶた・ ねぶた骨組み から		学校独自 の本体の 製作・制作		合同運行など の本体の 製作		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	10	1	10.0	6	60.0	1	10.0	0	0.0	1	10.0	2	20.0	0	0.0
弘前市小学校	11	2	18.2	1	9.1	7	63.6	0	0.0	4	36.4	0	0.0	1	9.1
青森市中学校	4	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	1	25.0
弘前市中学校	6	1	16.7	0	0.0	3	50.0	1	16.7	4	66.7	0	0.0	0	0.0
合計	31	5	16.1	7	22.6	11	35.5	1	3.2	11	35.5	2	6.5	2	6.5
両市小学校	21	3	14.3	7	33.3	8	38.1	0	0.0	5	23.8	2	9.5	1	9.1
両市中学校	10	2	20.0	0	0.0	3	30.0	1	10.0	6	60.0	0	0.0	1	34.1
青森市両校	14	2	14.3	6	42.9	1	7.1	0	0.0	3	21.4	2	14.3	1	7.1
弘前市両校	17	3	17.6	1	5.9	10	58.8	1	5.9	8	47.1	0	0.0	1	5.9

表8 前回結果「製作・制作」の内容

《2010年度 製作・制作活動についてと前回調査との比較考察》

製作・制作活動については、実施している教育課程の領域と製作・制作内容(作品)について分けて考察する。



実施領域はグラフ7で明瞭のように、小・中学校とも「総合的な学習の時間」が多い。次に小学校は「PTA 子ども会活動」で、中学校は「行事」である。前回調査と比較しても、この傾向は変わらなかった。我々は当初、新学習指導要領による「総合的な学習の時間」の実質的大幅削減により、この領域での活動は減少するであろうと予想していたが結果は異なった(表5、表6、グラフ7を参照)。特徴点は、黒石市の小学校が特に「PTA 子ども会活動」が多いことである(66.7%)。

表7、表8から製作・制作作品は、小学校で圧倒的に金魚ねふたの制作が多かった。特徴的なことは、黒石市で灯ろうねふた制作が66.7%と多く、弘前市では合同運行などの本体の製作に取り組んでいるところが18.8%ある。中学校は実施校が少ないため、統計的に考察することは無理であるが、特徴点として、弘前市では、灯ろうねふたの紙貼りが83.3%と多く、五所川原市も灯ろうねふたの制作が66.7%である。また、青森市は、灯ろうねふたは0校であるが、たこ絵の制作を実施しているところが2校ある。前回調査との比較では、割合は異なるが、傾向は同じである。

作品のどの工程まで授業として取り組めるのかは、各市、各小・中学校とも、「紙貼り以降から」、「骨組み以降から」とする両方の実施実績があるため、本データでは解明できない。これは、子どもの発達の視点と言うより、授業指導者の準備と指導経験、授業時間をどれだけ割けるかに関わっている事項と思われる

### (3)祭りへの参加・運行に関して

問1でイ(本年度の参加・運行有)又はオ(過去2年間に参加・運行有)と回答した学校への質問

#### (3)-1参加・運行している祭りの種類について

《質問》:「参加・運行しているねぶた・ねふた・立佞武多祭りは、次のどれですか」

《2010年度調査》		* 複数回答可							
	実施 学校 数	参加の祭りの種類							
		学校独自		地域の祭り		夏の合同運行 祭り		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	18	3	16.7	10	55.6	7	38.9	2	11.1
弘前市小学校	15	4	26.7	5	33.3	2	13.3	0	0.0
五所川原市小学校	3	0	0.0	0	0.0	3	100.0	0	0.0
黒石市小学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森市中学校	8	0	0.0	6	75.0	1	12.5	2	25.0
弘前市中学校	4	4	100.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0
五所川原市中学校	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
黒石市中学校	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2市小計	45	11	24.4	21	46.7	11	24.4	4	8.9
合計	50	13	26.0	21	42.0	14	28.0	4	8.0
4市小学校	36	7	19.4	15	41.7	12	33.3	2	5.6
4市中学校	14	6	42.9	6	42.9	2	14.3	2	14.3
青森市両校	26	3	11.5	16	61.5	8	30.8	4	15.4
弘前市両校	19	8	42.1	5	26.3	3	15.8	0	0.0
五所川原市両校	4	1	25.0	0	0.0	3	75.0	0	0.0
黒石市両校	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

表9 参加の祭りの種類

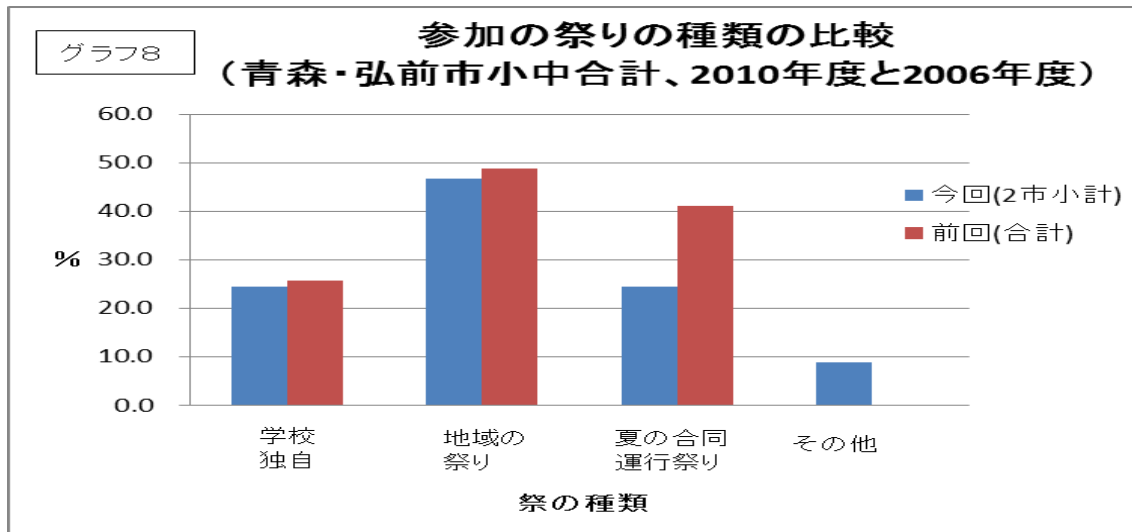
\*五所川原市では「夏の合同運行祭り」は「五所川原立佞武多」とした。

\*その他は青森市小学校でねぶた運行ばなし1校、夜店祭り1校、青森市中学校で演奏発表1校、市P連1校。

※実施校数と参加の祭りの種類の校数が合わないのは、無記入校が有るため。

《2006年祖調査》		*複数回答可							
	実施 学校 数	参加の祭りの種類							
		学校独自		地域の祭り		夏の合同運行 祭り		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	23	5	21.7	12	52.2	11	47.8	0	0.0
弘前市小学校	8	2	25.0	4	50.0	4	50.0	0	0.0
青森市中学校	2	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
弘前市中学校	6	3	50.0	2	33.3	0	0.0	0	0.0
合計	39	10	25.6	19	48.7	16	41.0	0	0.0
両市小学校	25	5	20.0	13	52.0	12	48.0	0	0.0
両市中学校	8	3	37.5	3	37.5	1	12.5	0	0.0
青森市両校	25	5	20.0	13	52.0	12	48.0	0	0.0
弘前市両校	14	5	35.7	6	42.9	4	28.6	0	0.0

表10 前回結果参加の祭りの種類



(3)ー2 運行のための練習を学校として行っているかの有無

《質問》：「運行のための笛、太鼓等の練習を取り上げていますか」

《2010年度調査》							
	実施 学校 数	参加練習の活動の有無					
		取り上げて いる		取り上げて いない		その他	
	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	18	11	61.1	7	38.9	0	0.0
弘前市小学校	15	10	66.7	5	33.3	0	0.0
五所川原市小学校	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0
黒石市小学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森市中学校	8	1	12.5	7	87.5	1	※
弘前市中学校	4	3	75.0	1	25.0	0	0.0
五所川原市中学校	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0
黒石市中学校	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0
合計	50	30	60.0	20	40.0	1	2.0
4市小学校	36	24	66.7	12	33.3	0	0.0
4市中学校	14	6	42.9	8	57.1	1	7.1
青森市両校	26	12	46.2	14	53.8	1	3.8
弘前市両校	19	13	68.4	6	31.6	0	0.0
五所川原市両校	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
黒石市両校	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0

表11 参加練習の有無

\*運行はしていないが、PTA 子ども会活動で練習を行った。

《2006年度調査》							
	実施 学校 数	参加練習の活動の有無					
		取り上げて いる		取り上げて いない		その他	
	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	23	13	56.5	6	26.1	3	13.0
弘前市小学校	8	4	50.0	4	50.0	0	0.0
青森市中学校	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
弘前市中学校	6	1	16.7	4	66.7	0	0.0
合計	39	20	51.3	14	35.9	3	7.7
両市小学校	31	17	54.8	10	32.3	3	9.7
両市中学校	8	3	37.5	4	50.0	0	0.0
青森市両校	25	15	60.0	6	24.0	3	12.0
弘前市両校	14	5	35.7	8	57.1	0	0.0

表12 前回結果参加練習の有無

(3)ー3 運行のための練習を取り上げている教育課程の領域について

《質問》：「ア（取り上げている）と回答した学校は、練習を取り上げている領域は次のどれですか」

《2010年度調査》		* 複数回答可												
	実施 学校 数	練習の実施領域												
		教科			総合的な学 習の時間		特別活動		行事		PTA子ども 会活動		その他	
		(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	11	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	8	72.7	3	27.3	
弘前市小学校	10	1	10.0	4	40.0	1	10.0	1	10.0	2	20.0	2	20.0	
五所川原市小学校	3	2	66.7	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
黒石市小学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
青森市中学校	2	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	
弘前市中学校	3	1	33.3	1	33.3	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	
五所川原市中学校	1	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
黒石市中学校	1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
合計	31	5	16.1	10	32.3	2	6.5	2	6.5	11	35.5	5	16.1	
4市小学校	24	3	12.5	7	29.2	2	8.3	1	4.2	10	41.7	5	20.8	
4市中学校	7	2	28.6	3	42.9	0	0.0	1	14.3	1	14.3	0	0.0	
青森市両校	13	0	0.0	2	15.4	0	0.0	0	0.0	9	69.2	3	23.1	
弘前市両校	13	2	15.4	5	38.5	1	7.7	2	15.4	2	15.4	2	15.4	
五所川原市両校	4	2	50.0	3	75.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
黒石市両校	1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	

表13 練習の実施領域

\*五所川原市では「夏の合同運行祭り」は「五所川原立佞武多」とした。

\*その他は青森市小学校でねぶた運行ばなし1校、夜店祭り1校、青森市中学校で演奏発表1校、市P連1校。

《2006年度調査》		* 複数回答可												
	実施 学校 数	練習の実施領域												
		教科			総合的な学 習の時間		特別活動		行事		PTA子ども 会活動		その他	
		(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	13	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	92.3	1	7.7	
弘前市小学校	4	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	1	25.0	
青森市中学校	2	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
弘前市中学校	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
合計	20	1	5.0	2	10.0	0	0.0	0	0.0	14	70.0	2	10.0	
両市小学校	17	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	14	82.4	2	11.8	
両市中学校	3	1	33.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
青森市両校	15	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0	12	80.0	1	6.7	
弘前市両校	5	1	20.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	2	40.0	1	20.0	

表14 前回結果練習の実施領域

### 《2010年度祭りへの参加・運行に関する考察》

参加・運行活動については、祭りの種類、運行のための練習を教育課程に組み込んでいるか、いる場合その教育課程はどの領域かについて分けて考察する。

祭りの種類は、表9、表10、グラフ8から、合計では、地域の祭りへの参加・運行が多い。特に、青森市は小学校(55.6%)、中学校(75.0%)ともその傾向が強いが、弘前市の中学校は学校独自祭りが多く(100%)、五所川原市の小学校は立佞武多への参加が多い(100%)。前回調査と比較すると、2市ともその傾向は同じであったが、夏の合同運行への参加が両市とも減少している。

参加・運行のための学校での練習については、青森市と弘前市の小学校では6割の学校で取り上げているが、青森市の中学で取り上げているのが12.5%、弘前市は75.0%で、校数は少ないが、五所川原市、黒石市は全ての学校で練習を取り上げている(表11参照)。

練習のための教育課程の領域は、製作・制作活動時と基本的に同傾向で、「総合的な学習の時間」が第1であるが、青森市は小・中学校とも「PTA子ども会活動」が多く、小学校77.7%、中学校50.0%である。これは、ねぶた祭りに向けて笛の練習を学校の教育課程に位置づけて練習しているためと思われる。

### (4)今年度特に実施していない事に関して

質問1でウ(本年度特に取り上げていない)と回答した学校への質問

《質問》:「特に取り上げていない学校にお聞きします。次年度以降、取り上げる予定がありますか」

《2010年度調査》					
	回答学校数 (校)	次年度実施予定の有無			
		特に予定していない (無回答含む)		予定している	
		(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	25	25	100.0	0	0.0
弘前市小学校	25	24	96.0	1	4.0
五所川原市小学校	8	8	100.0	0	0.0
黒石市小学校	3	3	0.0	0	0.0
青森市中学校	12	12	100.0	0	0.0
弘前市中学校	10	10	100.0	0	0.0
五所川原市中学校	4	4	100.0	0	0.0
黒石市中学校	3	3	100.0	0	0.0
合計	90	89	98.9	1	1.1
4市小学校	61	60	98.4	1	1.6
4市中学校	29	29	100.0	0	0.0
青森市両校	37	37	100.0	0	0.0
弘前市両校	35	34	97.1	1	2.9
五所川原市両校	12	12	100.0	0	0.0
黒石市両校	6	6	100.0	0	0.0

表15 次年度実施の有無

\*五所川原市小学校で、伝統行事として虫送り、灯まつりの取り上げ予定1校。

《2006年度調査》

	回答学校数	次年度実施予定の有無			
		特に予定していない (無回答含む)		予定している	
	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	21	20	95.2	1	4.8
弘前市小学校	22	21	95.5	1	4.5
青森市中学校	15	15	100.0	0	0.0
弘前市中学校	9	8	88.9	1	11.1
合計	67	64	95.5	3	4.5
両市小学校	43	41	95.3	2	4.7
両市中学校	24	23	95.8	1	4.2
青森市両校	36	35	97.2	1	2.8
弘前市両校	31	29	93.5	2	6.5

表16 前回結果次年度実施の有無

(5)ねぶた・ねぶた・立佞武多についての学習や講話について

(5)-1 ねぶた・ねぶた・立佞武多についての学習や講話の有無

《質問》:「ねぶた・ねぶた・立佞武多についての学習や講話についてお聞きします。ねぶた・ねぶた・立佞武多についての歴史学習やねぶた・ねぶた・立佞武多関係者の講話等を行っていますか」

《2010年度調査》

	回答学校数	講話の実施の有無			
		行っている		行っていない	
	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	49	10	20.4	39	79.6
弘前市小学校	37	8	21.6	29	78.4
五所川原市小学校	16	3	18.8	13	81.3
黒石市小学校	7	0	0.0	7	0.0
青森市中学校	21	1	4.8	20	95.2
弘前市中学校	16	1	6.3	15	93.8
五所川原市中学校	7	0	0.0	7	100.0
黒石市中学校	4	0	0.0	4	100.0
合計	157	23	14.6	134	85.4
4市小学校	109	21	19.3	88	80.7
4市中学校	48	2	4.2	46	95.8
青森市両校	70	11	15.7	59	84.3
弘前市両校	53	9	17.0	44	83.0
五所川原市両校	23	3	13.0	20	87.0
黒石市両校	11	0	0.0	11	100.0

表17 講話の実施の有無

《2006年度調査》

	回答 学校 数	講話の実施の有無			
		行っている		行っていない	
	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	48	8	16.7	39	81.3
弘前市小学校	34	2	5.9	32	94.1
青森市中学校	20	1	5.0	19	95.0
弘前市中学校	18	3	16.7	15	83.3
合計	120	14	11.7	105	87.5
両市小学校	82	10	12.2	71	86.6
両市中学校	38	4	10.5	34	89.5
青森市両校	68	9	13.2	58	85.3
弘前市両校	52	5	9.6	47	90.4

表18 前回結果講話の実施の有無

※回答校数には無記入校を含む。

(5) - 2 講話等を行っている学校での、実施内容について

《質問》：「行っている学校での、実施内容は何か」

ア ねぶた・ねふた・立佞武多の歴史や伝統文化の継承について

イ ねぶた・ねふた・立佞武多の形や絵について

ウ その他

《2010年度調査》

\* 複数回答可

	実施 学校 数	講話の実施内容					
		歴史・伝統文化の継承		形や絵		その他	
	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	10	8	80.0	7	70.0	3	30.0
弘前市小学校	8	6	75.0	5	62.5	2	25.0
五所川原市小学校	3	3	100.0	1	33.3	1	33.3
黒石市小学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森市中学校	1	1	100.0	1	100.0	0	0.0
弘前市中学校	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0
五所川原市中学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
黒石市中学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	23	18	78.3	15	65.2	6	26.1
4市小学校	21	17	81.0	13	61.9	6	28.6
4市中学校	2	1	50.0	2	100.0	0	0.0
青森市両校	11	9	81.8	8	72.7	3	27.3
弘前市両校	9	6	66.7	6	66.7	2	22.2
五所川原市両校	3	3	100.0	1	33.3	1	33.3
黒石市両校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

表19 講話の実施内容

《2006年度調査》 \* 複数回答可

	実施 学校 数  (校)	講話の実施内容					
		歴史・伝統文化の継承		形や絵		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	8	7	87.5	4	50.0	2	25.0
弘前市小学校	2	2	100.0	2	100.0	0	0.0
青森市中学校	1	0	0.0	0	0.0	1	100.0
弘前市中学校	3	0	0.0	3	100.0	0	0.0
合計	14	9	64.3	9	64.3	3	21.4
両市小学校	10	9	90.0	6	60.0	2	20.0
両市中学校	4	0	0.0	3	75.0	1	25.0
青森市両校	9	7	77.8	4	44.4	3	33.3
弘前市両校	5	2	40.0	5	100.0	0	0.0

表20 前回結果講話の実施内容

\*その他は、青森市小学校で囃子2校、ねぶた集会1校、弘前市小学校で笛の演奏1校、五所川原市小学校で五所川原の歴史・ねぶたづくりの魅力・お囃子の魅力1校。

(5)－3 講話等を行っている学校での、指導者について

《質問》：「行っている学校での、指導者は誰ですか。」

- ア 教師のみ
- イ 学校外のねぶた・ねぶた・立佞武多関係者が中心
- ウ 教師と学校外のねぶた・ねぶた・立佞武多関係者
- エ その他

《2010年度調査》 \* 複数回答可

	実施 学校 数  (校)	講話の指導者							
		教師のみ		学校外の関係者		教師と 学校外の関係者		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	10	3	30.0	2	20.0	5	50.0	0	0.0
弘前市小学校	8	2	25.0	5	62.5	2	25.0	1	12.5
五所川原市小学校	3	0	0.0	1	33.3	2	66.7	0	0.0
黒石市小学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森市中学校	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
弘前市中学校	1	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0
五所川原市中学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
黒石市中学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	23	5	21.7	9	39.1	10	43.5	1	4.3
4市小学校	21	5	23.8	8	38.1	9	42.9	1	12.5
4市中学校	2	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
青森市両校	11	3	27.3	3	27.3	5	45.5	0	0.0
弘前市両校	9	2	22.2	5	55.6	3	33.3	1	11.1
五所川原市両校	3	0	0.0	1	33.3	2	66.7	0	0.0
黒石市両校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

表21 講話の指導者



\*その他は、弘前市小学校で保護者1校。

《2006年度調査》		*複数回答可							
	実施 学校 数	講話の指導者							
		教師のみ		学校外の関係者		教師と 学校外の関係者		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	8	2	25.0	3	37.5	3	37.5	0	0.0
弘前市小学校	2	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0
青森市中学校	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
弘前市中学校	3	0	0.0	2	66.7	1	33.3	0	0.0
合計	14	2	14.3	8	57.1	4	28.6	0	0.0
両市小学校	10	2	20.0	5	50.0	3	30.0	0	0.0
両市中学校	4	0	0.0	3	75.0	1	25.0	0	0.0
青森市両校	9	2	22.2	4	44.4	3	33.3	0	0.0
弘前市両校	5	0	0.0	4	80.0	1	20.0	0	0.0

表22 前回結果講話の指導者

(5)－4 講話等を行っている学校での実施教育課程領域について

《質問》:「行っている学校での実施領域は、次のどれですか。また、実施学年はいつですか。」

《2010年度調査》		*複数回答可											
	実施 学校 数	講話の実施領域											
		教科		総合的な学 習の時間		特別活動		行事		PTA子ども 会活動		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	10	1	10.0	6	60.0	0	0.0	3	30.0	0	0.0	1	10.0
弘前市小学校	8	1	12.5	5	62.5	0	0.0	1	12.5	2	25.0	1	12.5
五所川原市小学校	3	1	33.3	2	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
黒石市小学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森市中学校	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
弘前市中学校	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
五所川原市中学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
黒石市中学校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	23	4	17.4	14	60.9	0	0.0	4	17.4	2	8.7	2	8.7
4市小学校	21	3	14.3	13	61.9	0	0.0	4	19.0	2	9.5	2	9.5
4市中学校	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森市両校	11	1	9.1	7	63.6	0	0.0	3	27.3	0	0.0	1	9.1
弘前市両校	9	2	22.2	5	55.6	0	0.0	1	11.1	2	22.2	1	11.1
五所川原市両校	3	1	33.3	2	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
黒石市両校	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

表23 講話の実施領域

\*その他は、青森市小学校で朝の練習活動1校、弘前市小学校で全校集会時1校。

《2006年度調査》

\* 複数回答可

	実施 学校 数	講話の実施領域											
		教科		総合的な学 習の時間		特別活動		行事		PTA子ども 会活動		その他	
		(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	8	0	0.0	5	62.5	1	12.5	1	12.5	1	12.5	0	0.0
弘前市小学校	2	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
青森市中学校	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
弘前市中学校	3	1	33.3	2	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	14	1	7.1	9	64.3	1	7.1	1	7.1	2	14.3	0	0.0
両市小学校	10	0	0.0	6	60.0	1	10.0	1	10.0	2	20.0	0	0.0
両市中学校	4	1	25.0	3	75.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森市両校	9	0	0.0	6	66.7	1	11.1	1	11.1	1	11.1	0	0.0
弘前市両校	5	1	20.0	3	60.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0

表24 前回結果講話の実施領域

《学習・講話に関する考察》

ねぶた・ねぶたに関する学習や講話を行っている学校は、小学校は全体で約2割が実施し、中学校は青森市、弘前市で各1校のみで、他は実施していなかった。前回の調査との比較では、小学校での両市合計で7校、割合にして8%ほど増加していた(表17、18参照)。

実施の多い小学校について詳細に見て行くと、講話の実施内容では、「歴史・伝統文化の継承」が8割と多く、新学習指導要領での「伝統的文化の尊重」が反映しているものと思われる。しかし、形や絵の講話・指導、囃子の指導等の内容も6割ほどで実施されており、地域祭りとの関わりが伺える(表19参照)。

講話等の指導者は、学校外の関係者からが38%、教師が24%、両者が43%で、ねぶた・ねぶたに関心のある「ねぶた馬鹿」教師の奮闘と推測される(表21参照)。また、教育課程のどの領域で実施しているかは、やはり他調査校目と同じ「総合的な学習の時間」が62%と多かった(表23参照)。

第3節 ねぶた・ねぶた・立佞武多の実施状況の総合的考察

総合的考察は6つの視点に整理して行う。

第1に各市の小学校の取り組み(活動)の有無をみると、全市とも5割近い小学校でねぶた・ねぶたに関して何らかの取り組みをしていた(弘前市については第2節(1)で検討)。一方中学校も、平均して各市4割の学校が何らかの取り組みをしていた。また、ねぶた・ねぶたに関する学習や講話を行っている学校は、小学校は全体で約2割が実施し、中学校は青森市、弘前市で各1校のみで、他は実施していなかった。

前回の調査との比較で、活動の有無については、小学校が青森市も弘前市もほとんど変化がなかった。中学校は、青森市が5校(22.9%)増で、弘前市は3校(12.5%)減で、実施校の増減があった。講話については、小学校での両市合計で7校、割合にして8%ほど増加していた。

では、これらの活動参加の数値をどう読むかである。プロジェクトの学生メンバーで、ねぶた・ねぶたに関わっていた学生は、自らの体験より「意外と多かった」と捉えていた。一方、

他県から来た学生は、毎年の盛況な祭に多くの子ども達が参加していることから、「もっと多くの学校が関わっている」と思ったと感想を述べていた。

第2の視点は、活動内容（制作と参加・運行・練習）とどんな祭りへ参加しているかについてである。各市ごとの活動内容における小学校の特徴は、「制作重視型」が五所川原市(43.8%、過去5年も含めると50.1%—以下同じ、分母は何らかの取り組みをしていた学校数—以下同じ)、黒石市(57.1%、85.7%)であり、「参加・運行型」が青森市(16.3%、36.8%)で、弘前市は均衡していた。中学校でも「制作重視型」が五所川原市(42.9%)、「参加・運行型」が青森市(38.1%)で、弘前市は均衡し小学校と同じ傾向がみられた。

それに対して、祭りへの参加は、「参加・運行・練習型」の青森市は、小学校が「地域祭り」(55.6%)「合同運行祭り」(38.9%)で、中学校が前者(75.0%)、後者が(12.5%)であった。すなわち、学校で取り組む内容が、地域の祭りに連動している傾向が顕著にみられた。一方弘前市は、活動内容に特に偏った傾向はなく、「学校独自祭り」への参加も小学校は26.7%、中学校は100%であった。すなわち、弘前市は、各校の独自性でさまざまな態様で取り組まれていると思われる。「制作重視型」の五所川原市の祭りへの参加は、小学校が立佞武多(100%)であった。

第3の視点は製作・制作作品である。小学校は3市とも圧倒的に金魚ねふたの制作が多かったが、黒石市では灯ろうねふたの制作が66.7%あった。弘前市では合同運行などの本体の製作に取り組んでいるところが18.8%あることが注視される。中学校は実施校が少ないため、統計的に考察することは無理であるが、特徴点として、弘前市で、灯ろうねふたの紙貼りが83.3%あった。

第4の視点は、参加・運行活動のための練習を教育課程に組み込んでいるかである。青森市と弘前市の小学校では6割の学校で取り上げており、青森市の中学で取り上げているのは12.5%、弘前市は75.0%で、活動校数は少ないが、五所川原市、黒石市は全ての学校で練習を取り上げていた。

第5の視点は、活動や練習のための時間が教育課程のどの領域で行われているかである。活動時間は、小・中学校とも「総合的な学習の時間」が多かった。次に小学校は「PTA子ども会活動」で、中学校は「行事」である。前回調査と比較しても、この傾向は変わらなかった。我々は当初、新学習指導要領による「総合的な学習の時間」の実質的大幅削減により、この領域での活動は減少するであろうと予想していたが結果は異なった。

第6の視点は、講話の実施内容と指導者である。実施内容は「歴史・伝統文化の継承」が8割と多く、新学習指導要領での「伝統的文化の尊重」が反映しているものと思われる。しかし、形や絵の講話・指導、囃子の指導等の内容も6割ほどで実施されており、地域祭りとの関わりが伺える。講話等の指導者は、学校外の関係者からが38%、教師が24%、両者が43%で、ねふた・ねふたに関心のある「ねふた愛好教師」の奮闘と推測される。

上記を通して、ねふた・ねふたが取り組まれている多くの学校には、「ねふた馬鹿」と言われている「ねふた愛好教師」が存在し、彼/彼女らの奮闘で取り組まれていると言われても過言ではないと思われた。